



第4号

高知県立高知国際中学校だより

高知県立高知国際中学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部2丁目5番70号

年の瀬です

校長：森本民之助

今年も残りあとわずかです。特に今年は平成最後の年末ですので、時代の変わり目ということにもなります。いずれにせよ、年の瀬になると世間はどうしてもあわただしくなります。自分のリズムを崩さずゆったりと過ごそうと思っても、世相に巻き込まれて、あわただしく過ごします。師走ですからね。しかし、これが嫌かというそうではなく、このあわただしさを楽しんでいる自分に気がきます。そして、一年の中で一番、時の流れを意識するのはこの時期です。

高知国際中学校が開校して9ヵ月になります。生徒たちは入学当初から比べると集団的にも個人的にも大きく成長しました。ほとんどが満足のいく成長ですが、たまにあの時こうすればよかったと過ぎた時を悔やむ場面もあります。過去は変えられないので、もうこれから頑張るしかない、ということになります。ですが、この思いだけで一年間を過ごす、おそらく来年の暮れにも同じ後悔をすでしょう。せっかく、時の流れを意識する時期ですので、時に対する意識を考えてみます。過去があって、現在、そして未来です。ほとんどの人は現在に視点を置いてものごとを考えます。過去に取り組んできた結果が現在であって、今やっていることの積み重ねの結果として未来がある、というのが自然でしょう。今を頑張ることで未来が開けるといふ感覚、常に意識は現在にある。ですがそうすると、やっぱり過去は変えることのできないもの。そこで、「現在は、未来から見た過去」という視点で時の流れを見ます。例えば、30歳の自分、高3の自分、1年後の自分のよい状態（理想の形）を想像して、その未来に視点を置いて現在をみる。そうすると、視点は未来にあるから、現在は未来からの過去。現在は未来を見据えて過去を創るとき。よりよい将来のために計画、戦略を立てて、今、何をするかをきちんと理解して実行する。時はあつという間に過ぎるので、ちよつとでも油断すると、後悔する過去だけを残します。

お互いに、油断せず年末年始を心豊かに過ごしましょう。来年もよろしくお願いします。

高知南中学校との交流が始まりました

教頭：片岡真希

平成33年度(2021年度)に高知国際高等学校が開校します。現在、本校と高知南中学校でそれぞれ学んでいる中学1年生は、高知国際高等学校で共に第1期生になります。そこで、10月3日(水)本校において高知南中学校の1年生を迎え交流事業を実施しました。交流委員会の生徒を中心に準備を進め、当日の運営も務めました。お互いの学校紹介のあと、MYPの授業体験では本校1年生が高知南中学校1年生に「国際バカロレア」について丁寧に自分の言葉で一生懸命説明しました。これまでの自分たちの学びをあらためて振り返る良い機会になりました。仲間づくり「心の冒険教育」や昼食を通して、時間の経過とともに打ち解け仲間になる生徒の姿に高知国際高等学校の未来を感じました。午後からの大縄跳びとドッジボールも大いに盛り上がり、両校の生徒が共に活動する貴重な時間になりました。最後までバスの中から笑顔で手を振る高知南中学校の1年生と、見送る本校の1年生の姿がとても微笑ましく大変嬉しく思いました。将来の高知国際中学校・高等学校の在り方を見据えながら様々な場面での交流を継続的に実施してまいります。どうぞご理解とご協力をよろしくお願いします。



【大縄跳び】



【心の冒険教育の場面1】



【心の冒険教育の場面2】

生徒会役員

生徒会担当：堀見 絵里沙

12月6日（木）に高知国際中学校で初めての生徒会役員選挙が行われました。選挙管理委員長の1年Bホーム近森翔陽さんを中心に、選挙管理委員のAホーム神原智美さん、中川叶葉さん、Bホーム安田響さんの4名で、ゼロから準備をすすめてきました。短い準備期間ではありましたが、羅針盤（生活の手引き）を何度か読み解き、全校生徒に向けた説明会や立候補者への説明、立会演説会・役員選挙の進行など、すべて自分たちで行いました。当日は少し混乱する場面がありましたが、選挙管理委員をはじめ全校生徒にとって印象に残る役員選挙になったと思います。

生徒会役員には、4名が立候補し、当日は応援演説者とともに立派な演説を行いました。

公正な開票の結果、以下の4名が記念すべき最初の高知国際中学校生徒会役員に決定しました。

生徒会長	吉村南海さん
生徒会副会長	岡田千秋さん
生徒会副会長	小松千紘さん
書記	竹森 圭さん

また、立候補者が定員に満たなかった会計、会計監査の役職においては、12月20日（木）に補欠選挙を行いました。2役職に3名の立候補があり、信任投票ではなく、投票による選挙となりましたが、投票者一人一人が真剣に考え投票し、以下の2名が新たに生徒会役員として選出されました。

会計	三上 輝さん
会計監査	足達美空さん

高知国際中学校をより良くするため、また地域や全国、世界に広めるための活躍に期待します。

iPad の使用について

I C T担当：重森健介・長野千恵

本校で導入しているタブレットについて、学習の目的としての活用をより促進するために、12月よりルールを再確認しました。一人ひとりが適切に使用するために、タブレットの使用の在り方を見直していきましょう。

- ① タブレットにインストールするアプリは、学校が学習の目的であると認めたものとします。今後、学習のために新たにインストールしたい場合は、アプリの使用申請書を記入し、提出してください。
- ② 学校が学習の目的であると認めたアプリについても、動画、ゲーム機能のある学習アプリ、イラストレーションのアプリなどにおいて、申請した目的以外で使用している場合は、アンインストールの対象とします。
- ③ 授業時間以外であっても、ゲームやその他の学習に関係のないことをすることは、周囲に迷惑がかかります。放課後は、下校時刻を守り、速やかに家に帰りましょう。
- ④ タブレットを長時間使用することは、体に大きな負担をかけることになります。また、夜遅くまで使用することもやめましょう。

冬休みは、iPad を使用しない課題が多く出されています。そのため、iPad を使用する時間は普段より減ると思いますので、自分で iPad の使用をコントロールできない場合には、保護者の方と協力して自己管理スキルを徐々に身につけていきましょう。

英語で狂言

英語科担当：長野千恵

11月20日(火)に本校ランチルームにて、狂言和泉流宗家 和泉淳子さん、三宅藤九郎さんを講師にお招きし、英語で狂言を体験するワークショップを開催しました。

実際に間近でみる狂言師の迫力や力強さに圧倒された時間となりました。また、日本の伝統文化を英語で学ぶ貴重な機会となりました。



【狂言を指導して下さる和泉淳子さん(左)、三宅藤九郎さん】

オーテピア

理科担当：重森健介



【理科の特別授業】

12月12日(水)に、オーテピアの高知みらい科学館にて、理科の特別授業を受けてきました。1時間目のテーマは、「水を100℃以下で沸騰させることができるのか。」、2時間目は、プラネタリウムを利用して、「地球の自転を考える。」でした。普段の学校ではできないような体験をして、生徒たちも非常に楽しんでいました。生徒たちの感想には、「また来たい!」、「学校でもやりたい!」、「普段オーテピアに来ているけど、理科の授業ができるなんてすごい!」といったような感想が出ていました。現地集合も新鮮だったようで、初めて電車に乗る生徒は、電車の乗り方も「いい勉強になった」と言っていました。

特別授業(アクションプラン作成)

担当：佐野 武

12月14日(金)、隠岐島前教育魅力化プロジェクトの豊田庄吾さんを講師にお招きし、特別授業を行いました。生徒はワークショップ形式の授業を通じて、「わかるとできるは違う」「自信の種の一般化」などを学び、「3日以内に実行可能な小さなアクションプラン」を1人1人設定しました。12月17日(月)の時点で確認したところ、実際に行動に移した生徒は約半数でした。特別授業を単なるイベントで終わりにせず、頭で「わかる」段階から日常の行動で「できる」段階に一歩進むよう期待しています。

それゆけ！突撃インタビュー。

担当：月光

「それゆけ！突撃インタビュー。」第二弾です。このコーナーは高知国際中学校と一緒に創りあげてくれる人々に、謎の記者（月光）が突撃インタビューを敢行します。今回は、先日、交流行事を行った高知南中学校の織田校長先生、そして高知西高等学校の吉岡先生へのインタビューです。

織田敦子校長先生（高知南中学校・高等学校）への突撃インタビュー。

2 高知南中学校はどのような学校ですか。「高知南版グローバル教育」を合言葉に、三つの特色ある取り組みをしています。一つは、体験学習を積み重ね、生きる力を育てるキャリア教育。二つは、主体的・協働的な学習者を育てる探求型学習プログラム。三つは国際理解教育を充実させ、グローバル人材を育てる英語教育プログラムです。特に、英語教育プログラムでは、英語検定や英語スピーチコンテストに挑戦し、実践的な英語力を身に付けます。

3 校長先生からみた高知国際中学校の印象を教えてください。開校式にも出席させていただきましたが、その際の皆さんのまっすぐな眼差しが忘れられません。その後、何度か授業の様子等拝見しましたが、グループ活動の際などしっかりと他者の意見も聞き、自らの考えも堂々と発言できていました。一人一人の生徒さんに個性があり自己主張もするけれど、きちんと教室内の秩序がある、そんな学校だと感じています。

4 校長先生が一番楽しい時間はどんなときですか。難しい質問ですね。読書が趣味なのですが、本を読んでいるとき楽しいのはもちろんですが、続きが気になっているけれど途中で読めずに、帰りの電車の中でやっと本を取り出す瞬間も結構楽しいです。

5 高知国際中学校の中学生にメッセージをいただけますか。前回の交流会では高知南中学校の生徒がお世話になりました。感想を見ると、高知国際中学校の生徒の皆さんの学びに向かう姿に圧倒されながらも、今は、高知南中学校での日々を大切に過ごして、高校生になって一緒に学べるのを楽しみにしていることがわかります。次は高知南中学校で待っています。

吉岡拓生先生（高知西高等学校）への突撃インタビュー。

2 今、学校ではどのような立場で、どのような仕事をされていますか。生徒指導部長として学校全体の学習環境づくりとともに、個々の生徒または全体の生徒指導、学校行事（ホームマッチや文化祭など）に関わっています。さらにバレーボール部顧問として日々、部活動指導に情熱を注いでいます。

3 高知西高校の2年生久保菜さんの県展入選作品のモデルになったとお伺いしましたが、今のお気持ちを教えてください。久保さんが威厳のある人物を描きたかったということで、そこに私が選ばれたことは光栄なことですかね。その作品を観に県展に行きましたけど、なんとなく照れくさい気がしましたが、久保さんの筆致というか素晴らしいと思いました。今、校内に飾られているのですが、正直、その場所を通りにくいです。

【吉岡先生】

4 吉岡先生が一番楽しい時間はどんなときですか。家族とのんびり温泉旅行とか趣味に没頭しているときですかね。

5 高知国際中学校の中学生にメッセージをいただけますか。部活動とか西高生の集会でもよく一人ひとりが「西高の顔」であるという話をします。個人がそれぞれ、その組織なりの看板を背負っています。まさに高知国際中学校生は高知国際中等高等学校の第1期生。あなたたちの頑張りが「学校の顔」「伝統」を創っていくということです。楽しくも誇らしい学校にするための努力を惜しまないでください。

パラスポ体験教室

人権担当：長野千恵

12月12日（水）の体育の授業において、オリンピック・パラリンピック教育推進事業として障害がある人もない人も楽しめるポッチャを体験しました。授業には、NPO法人まほろばクラブ南国より講師をお招きし、ルールを説明頂いた後、実際にチームに分かれて試合を行いました。

今学期は、コミュニティの特色に合わせたルールの在り方について考える授業に取り組んでいたため、新たな視点を得ることができました。



【ポッチャの授業1】



【ポッチャの授業2】

高知県立高知国際中学校
〒780-0852 高知県高知市鴨部2丁目5番70号
TEL:088-844-1221 FAX: 088-844-4823
URL: <http://www.kochinet.ed.jp/kokusai-jh/>
Email: kokusai-jh@kochinet.ed.jp